



TALK THEME

## シニア以降の インプラント 活用法

ゆかわ歯科クリニック  
湯川健院長

# 教えて 歯医者さん

**Q** インプラントのメリット、デメリットは？

**A** 健康な歯を削らずに違和感も少なく自分の歯に近い感じで噛むことができ、固い豆など食材を気にせず食事できる。だが、保険外治療なので歯1本あたり35万円程度の高額な自己負担や噛み合わせの調整など定期的なメンテナンスが必要で、健康状態や骨の状態など治療条件に制約がある。

**Q** インプラントをどう活用したらよいか。

**A** 残っている歯の本数で活用法を分けてみる。  
①20本以上自分の歯が残っているなら、奥の上下左右にインプラントを合計4本プラスしたい。②20本に足りないが近い本数が残っているなら、部分入れ歯とインプラントを磁石でひっつける。③残っている歯がまったくないか極端に少ないなら、総入れ歯とインプラントをスナップボタンのようなジョイントで固定する。少ない数のインプラントでもしっかり固定でき経済的負担が抑えられ、介護が必要になった時にも口腔内の清掃など対応がしやすくなる。特に、シニア以降のインプラントは介護状態になったときの対処も双方で話し合っておきたい。治療もいろいろな選択肢があるので、しっかりと話ができる歯科医のもとで、納得いくまで相談を。

歯にまつわるいろんな情報を届けます

89.7

MHz

毎週月曜日の13時台  
FM東広島で放送中

2月25日13時台の出演は「子どもの受け口」について、みちる矯正歯科・鶴みちるさんに聞いていきます。